

組合ニュース

発行：2015年2月18日

大分大学教職員組合

TEL・FAX：097-554-7998

E-Mail:oitauu@fat.coara.or.jp

学長選考会議は密室の決定を選ぶのでしょうか 意向投票廃止？ 決定は過半数？ 学長が学長を決める？

ルールはオープンな議論をして決めよう！

大分大学の学長選考方法の根本的変更が、外部への自主的情報開示なしに学長選考会議の密室協議の中で進められてきており、2月下旬にもルール変更が決定されるかもしれないという、重大な事態を迎えています。

◆意向投票は廃止!?

ルール変更の一つは、意向投票（学内教職員による）を廃止し、学長選考会議がすべてを決めるというものです。なぜ意向投票を廃止すべきなのか、理由はまったく知らされていません。

◆選考会議の決定は3分の2以上から過半数へ!?

学長候補者の選考の決議は、3分の2以上の賛成とされていますが、これを過半数に変えるのでしょうか？この理由もまったく知らされていません。

◆学長選考の公正性は担保されるのでしょうか？

学長選考会議の構成は、学長が任命した経営協議会外部委員から5名、学長が任命した理事3名、教育研究評議会から5名、となっています。この委員構成で、かつ過半数の決定では、学長が学長を決める、あるいは、一部の有力者が学長を決めることになるのではないかと批判を受けることは必至です。

◆学長は既に大きな権限を持つ

大学の最終決定権は学長にあると喧伝され、最近では学部長すら学長が事実上決定する規則改正が行われました。このような学長をどう選ぶのかは、大学運

営の公正性に関わる重大問題です。

◆学長選考のルールはオープンな議論で決めよう

京都大学では、2013年末に意向投票廃止の密室協議が大問題となり、学内外の運動の結果意向投票が実施され、山極総長が選ばれました。香川大学では本年6月に意向投票が行われます。意向投票廃止は、義務でも、全国的流れでもありません。

学長の選考方法については、選考会議という狭い範囲の議論ではなく、公開の公明正大な議論を行うことが、決定的に重要です。学長選考会議は、拙速な決定をしないでください。

戦後日本の大学の学長は、選挙によって選ばれてきました。国立大学法人（2004年から）への移行後は、学長選考会議が最終決定するものとされましたが、実際は意向投票（選挙）の結果を尊重して決められるのが普通でした。

学長選考について 考える緊急集会を 開催します

以下の日程で学長選考についての緊急集会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

●日時：2月20日(金)17:30～

●場所：経済第1会議室